学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	映像デザイン実習	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	CG＆映像しくみ事典（株式会社ボーンデジタル）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

映像デザイン分野の主要な3領域の一つ、ビデオ制作の基礎を学ぶ科目です。専門機材の正しい扱いから企画・撮影・編集まで、作品制作の全工程を実習を通して体験します。ビデオの特性を理解し表現力を養うとともに、グループ制作を通じて主体的かつ協働的に取り組む姿勢を重視します。制作への真摯な態度や、将来の糧となる「振り返り」を含む提出物の充実度を高く評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
ビデオ制作の基礎知識や機材操作に習熟し、安全かつ合理的な制作工程を論理的に構成する力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
ビデオの特性を理解して課題を発見し、適切な演出や構成を判断して作品を具体化する表現力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
制作に真摯に向き合い、主体的・協働的に課題解決を図り、映像デザインの発展に貢献する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	映像デザインの社会的な意義や人と技術の関わりを理解することを重視する。写真、ビデオ、グラフィックデザインの各領域で、機材やアプリケーションを安全かつ合理的に使いこなす技能を評価する。習得した専門的な知識と技術を統合し、制作上の進展に応じて適切に活用して、質の高い作品を完成させる実習技能の習熟度を重視する。	実習における課題を自ら発見し、科学的根拠に基づき作品制作の進展に適切に対応して解決する力を評価する。企画から構成、演出に至る工程で、視聴者や利用者の客観的な視点を踏まえた思考・判断を行い、創意工夫を凝らして作品を具体化する表現力を評価する。論理的な計画に基づき、表現の必然性を読み解きながら課題を解決していく能力を重視する。	映像デザインに関する広い視野と興味を持ち、分野の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を評価する。実習に真摯に向き合う向上心や、自身の役割を自覚して他者と協力し課題解決を図る姿勢を重視する。身近なメディアに広く関心を持ち、意欲的な情報収集を通じて自らの作品に新たな表現を反映させようとする探究心も評価の対象となります。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	ビデオ制作演習	基本ショットの名称や、それらが視聴者に与える心理的効果を学ぶ。既存のCMをリメイクする実習を通じて、プロの画面構成、カメラワーク、編集技術を体験的に習得し、映像制作の土台となる基礎知識を身に付ける。	a:ビデオ制作に関する専門用語や機材、編集アプリケーションの基本的な使い方を正しく理解している。 b:制作工程の各段階において、自身の表現意図を具体化するために最適な演出や技法を論理的に判断・選択できる。 c:映像デザインに強い関心を持ち、自主的・継続的な学習を通じて、ものづくりに関する探究心や創造的な能力を高めようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
2	ビデオ制作基礎Ⅰ	各自が設定したテーマに基づき、企画書、シナリオ、絵コンテを作成する。グループ内での役割を分担し、撮影・編集の工程を協働で進めることで、映像制作におけるプランニングの重要性と集団制作の進め方を学ぶ。	a:映像の特性を理解し、機材の機能を活かして意図した映像を記録・構成する実習技能を身に付けている。 b:オリジナル制作を通じ、視聴者を意識した効果的な画面構成や編集構成を思考し、表現に反映させている。 c:グループワークにおいて自身の役割を自覚し、他者と主体的かつ協働的に課題解決に取り組む真摯な姿勢を持っている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
3	ビデオ制作基礎Ⅱ	画像処理や音声調整の技術を習得し、1・2学期で学んだ知識を統合してオリジナルのビデオ作品を完成させる。機材やアプリケーションを適切に使いこなし、自身の表現意図を具体化する一連の工程を体験する。	a:作品完成に必要な基礎的な知識・技術を習得し、安全かつ合理的・効果的な手順で撮影・編集作業を進めることができる。 b:制作上の課題に対し、科学的根拠に基づき創意工夫を凝らして解決策を講じ、作品として具体化する力を発揮している。 c:グループワークにおいて自身の役割を自覚し、他者と主体的かつ協働的に課題解決に取り組む真摯な姿勢を持っている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度